

日本社会教育学会プロジェクト研究 新テーマ応募要領

1. 本学会におけるプロジェクト研究の経緯・趣旨

プロジェクト研究は、日本社会教育学会において学会員主体の開かれた共同研究を進める重要な取り組みです。この研究では、社会教育が直面している重要な問題の課題を研究テーマとして設定し、定例の研究会を持ちながら3年程度をかけて研究します。学会員の多様な関心や問題意識を学会の組織的な研究活動に活かすために、学会員が共同で取り組むに値する重要テーマを募集・採択し、学会員主体の研究活動の推進と成果の共有化を図ることを目的としています。

日本社会教育学会では、学会の組織的な研究活動を実施するために、理事会が研究課題を設定する「宿題研究」が、行われてきました。その後、学会員の多様な関心や問題意識を学会の研究活動により反映させ、学会員の主体的参加を可能にするために、2000年代に入ってから、学会として取り組む研究テーマを広く学会員に公募して決定し、学会員から研究チームを組織する「プロジェクト研究」に変更され、今日に至っています。

上記を踏まえ、新規プロジェクト研究テーマを以下の通り公募します。

2. 応募資格

- ・日本社会教育学会会員であること。
- ・提案者は、個人・集団いずれも可能。ただし、テーマが採択された後には、研究チーム（以下、プロジェクト・メンバー）を組織することになります。

3. 応募条件

- ・広く会員で研究・討議するにふさわしい、社会教育研究に関する学術的テーマであること（選考基準）。ただし、応募した内容がそのまま採用されるとは限りません。研究担当理事、および、理事会から、複数のテーマの統合や、テーマ名の変更が提案されることもあります。
- ・プロジェクト研究の期間は、原則3年間（以内）とします。
- ・6月集会・研究大会において、プロジェクト研究企画を実施運営すること。また、定例研究会を公開で開催するなど、学会員に開かれたプロジェクト運営を図ること。
- ・応募に関する不明点や不安な点について、研究担当理事への事前相談を歓迎いたします。状況に応じて、研究担当理事は既存のプロジェクト研究の経験紹介や学会員間のコーディネート等の支援を行います。

3. 応募方法

応募を希望する者は、「日本社会教育学会プロジェクト研究 新テーマ提案書（様式あり）」を学会サイトから入手・作成の上、期日までに日本社会教育学会事務局宛にメール添付で提

出してください

- 1) 提案者の氏名・所属（集団で提案する場合は、責任者を明記する）
- 2) 提案する研究テーマ
- 3) テーマ設定の趣旨

4. 選考過程・時期

- ・応募のあった内容について研究担当理事で審議の上、推薦理由と優先順位を添えて常任理事会（5月）に提案します。
- ・全国理事会（6月）での審議を経て、研究テーマが仮決定されます。同時に、提案者と理事会が調整を図りつつ、プロジェクト・メンバー案の検討が始まります。
- ・総会（研究大会）にて、プロジェクト研究テーマが決定され、プロジェクトが始動します（プロジェクト・メンバーについては、始動後も理事会報告によって随時メンバーの追加や変更が可能です）。

照会・提出先：日本社会教育学会事務局（jssace.office@gmail.com）

2019.3.25 常任理事会 決定

【参考1】プロジェクトの運営に関する支援

プロジェクト研究テーマとして採択された場合、以下のような支援を予定しています。

- ・当該プロジェクトを担当する理事（研究担当）が配置され、理事会とのパイプ役を担います。理事会への報告や提案のほか、学会公式サイトや学会通信への掲載、6月集会・研究大会の企画やプログラム作成等を支援します。
- ・状況により、理事会の委嘱を受けた幹事がプロジェクト研究に関わり、理事との調整のもとでプロジェクト運営を支援します。
- ・学会から、プロジェクト研究活動への活動費が助成されます（年数万円程度）。

【参考2】採択後のスケジュール

プロジェクト研究が採択されると、初年度は以下のようなスケジュールで動くことになります。いずれも、担当理事との連絡調整や相談・支援のもとで進められます。

- ・大会 プロジェクト研究の採択、プロジェクト・メンバーの立ち上げ
- ・秋 担当する理事の決定、予算配分、計画・相談、プロジェクト・メンバーでの会議等
- ・4月 6月集会プロジェクト企画（キックオフ）プログラムの確定
- ・6月 6月集会プロジェクト企画の運営、研究大会プログラムの確定
- ・9月 研究大会プロジェクト企画の運営

*このほか、プロジェクト・メンバーでの運営会議や、全学会員に開かれた公開研究会等を随時企画・開催します。